

がん検診で「要精検」となったら

がん検診（一次健診）では、スクリーニングといって、健康な人と多少でもがんの可能性が疑われる人を見極めてふるいわけます。

「要精検」（要精密検査）と判定された場合

- ◇ 「がんの疑いがある」可能性があり、さらに詳しい検査を受け、がんなのか、他の病気なのかを調べる必要があります。
- ◇ 症状がないからと精密検査を受けずにいると、せっかく見つけることができたがんを見逃してしまうかもしれません。



精密検査は保険適用で受けられます

- ◇ 検診結果と保険証を持参すれば、精密検査は保険適用になります。



コロナ禍での受診控えのリスク

- ◇ コロナ禍でも、がん罹患数は減るわけではありません。精密検査の受診控えは、がんの早期発見・早期治療の機会を減らしてしまうリスクがあると懸念されています。

早めに、必ず精密検査を受けましょう

- ◇ 早期がんのうちに発見できるのは、限られた期間と考えられています。
- ◇ がんを早期に発見・対処できれば、治療による体への負担や、かかる時間や費用が少なくて済みます。

できるだけ早く精密検査を受けましょう。



健保だより

令和3年9月10日号

※ダイワボウ労働組合「組合新聞」第1061号
(令和3年9月10日発行)に掲載の
「健保とあなた」と同じ内容です